

審 議 会 会 議 録

会議名称	平成29年度 第2回伊達市立図書館運営協力会		
議 題	(1) 小中学生読書感想文第2次審査員について(報告) (2) 「平成29年度伊達市立図書館概要」の発行について (3) 伊達市立図書館あり方検討委員会の提言について (4) 図書館運営に係る意見交換		
開催日時	平成29年10月13日(金) 14時00分～15時20分		
場 所	伊達市立図書館 2階 視聴覚室		
出席委員	本多 正機 委員 小倉 敬 委員 万代 淳 委員 佐々木 剛 委員 坪 美幸 委員 伊藤 洋子 委員 吉田めぐみ 委員 宇野千代子 委員 諏訪 厚 委員 小林 浩路 委員 (計10名)		
	所管部課名	教育部図書館	
公 開 非 公 開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
1. 開会 (事務局：図書館長) 2. 議題 (1) 小中学生読書感想文第2次審査員について ・5名の委員を審査員に選出 (2) 「平成29年度伊達市立図書館概要」の発行について ・各委員に「平成29年度伊達市立図書館概要」を配布 ・事務局から、関係機関等にも配布したことを説明 (3) 伊達市立図書館あり方検討委員会の提言について ・提言書に沿って事務局より説明 ・提言内容を踏まえた「伊達市立図書館運営基本方針」の策定を進めていることを説明 (4) 図書館運営に係る意見交換 【意見交換の内容については別紙のとおり】 5. 閉会			

【別紙（議題(4)意見交換の詳細）】

委員A：現在、札幌市中央図書館が工事のため閉館しており、インターネットで予約した図書資料の受取のみ対応している。札幌市中央図書館からまとまった数の図書資料を借り入れ、資料の充実を図った上で利用者の動向を調査しても良いのではないか。

事務局：図書館として他館からまとまった数の図書資料を借受することはできない。

委員B：図書館概要が、内容を大幅に見直したことにより大変見やすくなった。事務局からは、市民向けに見直したとの説明があり、図書館概要以外でも利用者視線での掲示を行うなどの館内の変化が見られるが、こういう視線・発想に好感が持てる。図書館概要に貸出ランキングが新たに設けられた。ランキング作成が難しい作業でなければ、これを館内に掲示または広報誌やホームページに掲載することで、利用者の読書意欲を高めることができるのではないか。

また、「館長のおすすめの一冊」「司書が選んだ十冊」などといった掲示があれば、利用者も興味が沸くのではないか。

委員C：児童書の配架が出版社別になっており非常に探しづらい。先日訪問した図書館では五十音順になっており探しやすい。この図書館ではできないのか。

事務局：出版社によって本の規格が異なるので、本の高さを揃えて配架するには出版社別が適している。また、シリーズ化されている本についても出版社別のほうが探しやすい。それぞれにメリット・デメリットがあり、最も良い配架がどのような形なのかは模索が続いている状況。

委員C：多くの図書館では五十音順となっている。シリーズ化されているものは別に配架するなどの工夫が必要だと思う。

委員B：図書館職員の都合ではなく、利用者の目線で進めていただきたい。

委員A：シリーズ別に並んでいるほうが面白い本との出会いが多い。また、出版社別のほうが背表紙の作品名・著者名の表示箇所が同じであり探しやすい。また、例えば「宇宙」などの分類別に配架している図書館もある。

委員B：あり方検討委員会では、図書館増改築はあくまで他の文化施設と隣接する現在地において行うべきとの意見が付されている。文化施設との連携を考えていかななくてはいけない。来年稼働する食育センターとの連携も視野に入れてほしい。

事務局：具体的なことは決まっていないが、食育センター及び歴史文化ミュージアムとの連携は協議している。

委員D：西いぶり広域図書館システムでは、図書資料の予約をキープするための「予約かご」という機能があるが、ログインしただけでは「予約かご」が表示されない。改善してほしい。

事務局：広域のシステムなのですぐには改善できないかもしれないが、運営会社と協議してみたい。

委員 E：この会の目的は教育長に意見を言うことだが、意見を言うタイミングはその年によって様々である。今年度は会長及び副会長により口頭で意見を述べるに留め、2年度目である来年度に提言を行うこととしてよろしいか。

各委員：《賛成との声》

委員 F：食育センターや歴史文化ミュージアムは建設されているが、図書館の増改築はいつになるのか。図書館には市民の憩いの場としての機能もあるので、多少無理をしてでも早急な建設を期待したい。

委員 E：増改築はこの会が平成19年度に発足されてから常に議題となっている。小学校体育館の改築もあるとのことだが、その次は図書館という期待は持っている。

事務局：これから策定する「伊達市立図書館運営基本方針」の中で、増改築の必要性をしっかりと明記し、増改築の機運が高いことを強調したい。大型建設事業が重なっているが、理事者も図書館改築の必要性を理解している。

委員 G：懸念しているのは、図書館運営のプランなしに早急に増改築した場合、増改築した施設に合わせた形でしか事業を展開できなくなるということ。図書館をどう運営するかという方針を決めて、増改築に臨むことが理想。運営の方針は、電子書籍の浸透や人口減少問題などの現状を反映したものになると思うが、あり方検討委員会及びこの運営協力会の意見についても大きく反映されることを期待している。

委員 B：他市では、図書館改築により利用者が倍増している。伊達市でも潜在的な需要は高いと感じている。家庭教育や生涯学習において重要や役割を果たす図書館を一刻も早く改築することは、人材育成の観点からも大きな意味がある。

委員 E：今回出た意見を基に次回の会議を進めたいと思う。